



あと一声の呼びかけを

1支援の単位につき保護者は複数参加を 指導員はできるだけ全員参加を

11月16、17日に開催される第59回全国学童保育研究集会について岩手県連協は350人の参加を目標に取り組んでいます。具体的には1支援の単位につき保護者は複数参加を、指導員はできるだけ全員参加を一を目標にしています。第2次集約日（9月25日）時点での各地域からの参加者は右の表のとおりです。県全体の参加者は206人で、目標まであと144人です。参加締め切りは10月9日となっています。各地域、各クラブであと、ひと声の呼びかけをお願いします。

地域	保護者	指導員	計
久慈	2	12	14
滝沢	10	14	24
盛岡	3	20	23
花巻	2	7	9
北上	23	26	49
気仙	12	61	73
加盟外	0	14	14
計	52	154	206

岩手県連協 阿部会長からのメッセージ

学童保育を守り発展させるために、一緒に学びましょう 第59回全国学童保育研究集会にぜひ、ご参加を

第59回全国学童保育研究集会の申し込み締め切りが近づいてきました。全国研は、同じ時代をいきる学童保育に関わる多くの人が、学童保育の基本や専門性を学びあう貴重な研修会です。岩手でも、毎年たくさんの保護者や指導員が受講しています。

学童保育は保護者が安心して働き続けるために、そして何よりも子どもたちの健やかな成長のためになくてはならない大切な施設ですが、子どもたちを取り巻く環境の大きな変化に加え、営利を目的とする民間企業の学童保育への急激な参入など、私たちの大切な学童保育は今大きな岐路に立たされています。

かけがえのない学童保育を守り発展させていくためには、関係者が学びあうことがどうしても必要です。専門職である指導員の皆さんはもちろんのこと、子育ての主体者である保護者の皆さんが、一人でも多く全国研に参加することが、岩手県内の学童保育を守り拡充していく確かな力となります。

各地域連協、各クラブにおきましては、一人でも多くの全国研への参加につきましてご尽力いただきますよう心からお願いいたします。

